

平成24年度 府中市防災会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成24年7月19日(木)午前10時から午前11時5分まで
- 2 開催場所 府中市役所北庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 高野律雄会長 田原なるみ委員 安部文洋委員 太田寛委員
吉本修委員 中島信一委員 田中健司委員 吉野誠委員
鹿島宏之委員 皆木武志委員 後藤廣史委員 芦川伊智郎委員
桜田利彦委員 堀口純伸委員 青木浩一委員 糸満純一郎委員
鹿島正喜委員 黒部光義委員 安藤広和委員 島田幸雄委員
足立雅明委員 都筑康夫委員 野間秀郎委員
- 4 代理出席 2名
- 5 欠 席 1名
- 6 事務局 石川防災課長
大沢防災課長補佐(兼)災害対策係長
加藤危機対策係長
矢野東危機対策係事務職員
長谷川災害対策係事務職員
- 7 議 事
 - (1) 審議事項
平成24年度府中市総合防災訓練について
 - (2) 報告事項
ア 府中市地域防災計画の見直しについて
イ 平成24年度府中市災害対策主要事業について
- 8 公開・非公開の別
公開（傍聴者の数 3名）

《会議内容（要旨）》

大沢補佐 大変お待たせしました。定刻となりましたので、ただ今より府中市防災会議を開催させていただきます。

はじめに、本会議の会長であります高野市長より、ごあいさつを申し上げます。会長よろしく申し上げます。

（高野会長、挨拶）

大沢補佐 引き続きまして、人事異動等により委員の交代がございましたので、ここで新たに委員に委嘱させていただきました方をご紹介します。お名前をお呼びいたしますので、誠に恐縮ですがご起立願います。

(新委員を紹介)

大沢補佐 以上、新委員をご紹介させていただきました。

それでは、これより議事に移らせていただきます。会長よろしく願います。

高野会長 それでは、府中市防災会議運営規程第3条に基づき、議事につきましては会長であります私が行うこととなっていますので、皆様のご協力により円滑に会議を進めたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

議事(1)の審議事項「平成24年度府中市総合防災訓練について」を議題いたします。事務局、説明を願います。

(事務局、資料 - 1 に基づき説明)

高野会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

吉野委員 今年度の会場は本宿小学校、第一中学校、第三中学校の3箇所とのことですが、会場が市内の西部に偏っているように感じます。会場の選定理由は、何かあるのですか。

大沢補佐 会場の選定理由についてですが、まず、本宿小学校については、昨年度から会場として決定していたものです。加えて、残りの2校については、今年度から訓練内容を変更したことに伴い急遽選定が必要となったものであるため、府中市立の全小中学校にアンケートを行い、協力可能と回答をいただいた学校から2校を選定したものです。

このため、確かに今年度は開催会場が若干市内の西側に偏りがありますが、来年度以降は市内のバランスを考慮して、地域的な偏りが出ないように会場を選定したいと考えています。

鹿島(正)委員 現在、東京消防庁では、初期消火に際して住民の力を活用すべく検討を進めております。ついては、啓発の一貫として、展示の内容に小型ポンプやスタンドパイプを含めていただきたいのですが、可能ですか。

石川課長 可能です。担当者に調整するよう指示します。

高野会長 他に質問等が無いようですので、お諮りいたします。「平成24年度府中市総合防災訓練について」ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

高野会長 無いようですので、「平成24年度府中市総合防災訓練について」は承認されました。

続きまして、議事(2)の報告事項ア「府中市地域防災計画の見直しについて」

事務局、説明願います。

(事務局、資料 - 2 に基づき説明)

高野会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

(質疑なし)

高野会長 無いようですので、続きまして、議事(2)の報告事項イ「平成24年度府中市災害対策主要事業について」事務局、説明願います。

(事務局、資料 - 3 に基づき説明)

高野会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

糸満委員 東京都から、発災時に小中学校の生徒が帰宅困難者となった場合は、原則3日間は学校に留め置くように、との方針が示されております。ついては、その滞在に堪え得る備蓄の整備を検討していただきたいと考えております。

後藤委員 府中市内で帰宅困難者が発生した場合は、文化スポーツ部が所管する施設も避難所となることが予想されます。事実、東日本大震災の発災により帰宅困難者が発生した際は、府中グリーンプラザが滞在施設となりました。このため、滞在施設となる可能性がある施設に対しては、適切な備蓄をしていたいただきますよう、ご検討をお願いします。

高野会長 市施設に対する備蓄については、他の部もそれぞれ意見があることと思いますが、市の部門内で協議を重ね、適切な備蓄を推進してください。

都築委員 資料には防災倉庫は11箇所しか記載されていませんが、各学校に対しても倉庫は設置されていると記憶しております。学校に設置されている倉庫がこの資料に記載されていない理由は、この資料に記載されている11箇所の倉庫と各学校に設置されている倉庫では、その用途に違いがあるからなのですか。

石川課長 学校に設置されている倉庫は、最低限の食料品等が備蓄されているに過ぎない物置程度の小規模なものとなります。対して、この資料に記載されている倉庫は、防災用の備蓄に特化しており、かつ専門的な資機材が配備されている規模が大きいものとなります。これが、両者の相違となります。

なお、災害時の医療資材セットは、傷病者用、骨折用など、その用途に応じて専門的なものを緑町防災倉庫に配備しており、それぞれの使用期限に応じて更新しております。

高野会長 他に無いようですので、以上をもちまして、本会議の議事は全て終

いたしました。4「その他」ですが、事務局の方で何かありますか。

大沢補佐 本日、ご出席いただいております各防災機関の皆様から、今後の発生が予想されている首都直下地震への各機関における対策について、お話を承りたいと存じます。

高野会長 では、初めに、府中警察署長吉本様、よろしくお願いいたします。

吉本委員 東日本大震災を受け、警視庁では副総監を長とする大震災対策委員会を設置し、諸対策を推進しました。そして、平成24年3月5日、当庁の具体的な施策について取りまとめた「警視庁大震災対策推進プラン」を公表しました。

「警視庁大震災対策推進プラン」では、主に2点を推進項目に挙げています。ひとつは、警察官個々の、発災時における事案対応能力の向上です。これを受け、府中警察署では、レスキュー隊を新設して訓練を実施するとともに、発災時の交通対策を万全に行うため、手信号の技術の向上に努め、また装備品の保守管理を改めて行いました。また、もうひとつの推進項目は、住民の自助共助の意識の更なる啓発です。今後は、可能な限り多くの自主防災組織と連携し、合同で訓練を実施していきたいと考えています。

高野会長 ご説明ありがとうございます。つぎに、府中消防署長鹿島様、よろしくお願いいたします。

鹿島(正)委員 地震発生時、東京消防庁では発令する配備態勢を、計測された震度に応じて予め定めています。また、発生した災害の規模に応じて119番通報を受信する部門を変更する、受ける応援の規模を変更するなど、発災時に迅速かつ適切な対応が取れるよう態勢の充実を図っています。

最近実施している主な施策として、自助及び共助のさらなる啓発が挙げられます。具体的には、木造密集地などの火災に対応するために、小型ポンプの使用やスタンドパイプの設置など、住民自身の力を活用した初期消火の啓発を進めています。また、防災教育の普及にさらに努めており、その結果、現在中学校ではAEDや消火器の使用方法を説明する時間が、既に授業のカリキュラムに取り込まれています。また、都立高校では、宿泊を伴う防災訓練や生徒の消防学校への派遣を実施しました。今後、このような施策をさらに推進し、中高生の防災行動力の強化を側面から支援していきたいと考えています。

高野会長 ご説明ありがとうございます。他に、事務局の方で何かありますか。

大沢補佐 ありません。

高野会長 無いようですので、以上をもちまして、本会議は全て終了いたしました。

長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。